



国土交通省
観光庁



SHORTSHORTS
FILM FESTIVAL & ASIA 2011

2011年11月15日

ショートショート実行委員会

報道関係各位

日韓観光振興プロジェクト特別製作作品『スーパースター』、『スマイルパス』 「旅ショート！プロジェクト」特設サイトにより配信！

<http://www.shortshorts.org/travel/>

米国アカデミー賞公認 アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アシ・ア(SSFF & ASIA)」(企画運営:株式会社パシフィックボイス 代表・別所哲也 <http://www.shortshorts.org/>)は、2009年に観光庁と共に新たなコンベンションである「旅ショート！プロジェクト」を立ち上げました。「日本の旅」、「日本の魅力」を描写する作品を募集し、その入選作品や優秀作品を各年の「SSFF & ASIA」や国内外の映画祭で上映することで、日本の魅力を伝えてまいりました。

「旅ショート！プロジェクト」取組の一環として「日韓観光振興プロジェクト」と称し、ショートフィルムを通じた日本と韓国の相互交流を図り※特別製作作品『スーパースター』『スマイルパス』を含むショートフィルムを製作、SSFF & ASIA2010にて世界プレミアで上映を行いました、そして今回この2つのショートフィルムを「旅ショート！プロジェクト」特設WEBサイトにて 英語字幕付きで配信をスタートいたしました。

また、本サイトでは、「あの人の思い出の景色」と題して、著名人に「旅」と「映画」に関してコラムを掲載しています、第1回、2回はセイン・カミュさん(タレント・俳優)、そして第3回、4回はLiLiCoさん(映画コメンテーター)による「旅」「映画」のコラムに続きます。

※「日韓観光振興プロジェクト」とは、映像を通じた日韓の観光交流振興を目的とする取組とし、SSFF & ASIA 2011特別製作作品として、日本人監督によるオールソウルロケの作品『スーパースター』(出演:櫻井淳子/キム・ウンス)、韓国人監督によるオール鎌倉・藤沢ロケの作品『スマイルパス』(出演:パク・コニョン/リュ・ヒョンギョン/田中要次)の2作品を特別製作いたしました。



SSFF & ASIA 2011 日韓観光振興プロジェクト 特別製作作品

韓国ソウル特別市

『スーパースター』監督:萩原健太郎

敏子(櫻井淳子)の夢は韓流スターのシユノ様に会う事。

韓国で・行なわれるファンイベントに行くことになった敏子は、ひょんな事から出会った超無愛想な韓国人運転手のハク(キム・ウンス)と会場を目指すか、予想外の出来事か....。



櫻井 淳子 (さくらい あつこ)

1973年生まれ。埼玉県出身の女優。TVドラマ「ショムニ」「おみやさん」「特命係長 只野仁」などに出演している日本の実力派女優。第31回ゴールデン・アロー賞放送新人賞、ならびに最優秀新人賞を受賞。また、2006年東海テレビスポーツ芸能選奨を受賞している



キム・ウンス

1961年生まれ。韓国出身の俳優。日本映画学校卒業。数多くの韓国ドラマ、映画に出演する韓国のベテラン俳優。日本でも大ヒットした「パッチギ! LOVE&PEACE」「カフェ・ソウル」「遠くの空」などに出演しており、日本の俳優とも交流を深めている。



SSFF & ASIA 2011 日韓観光振興プロジェクト 特別製作作品

鎌倉市・藤沢市(江の島)

『スマイルパス』監督:パク・サンジュン

復縁を迫るサンホ(パク・コニョン)と揺れるユナ(リュ・ヒョンギョン)の気持ちを、藤沢・江の島や鎌倉にまつわる言い伝えと美しい景色を背景に描いた珠玉のラブ・ストーリー。



パク・コニョン

1977年生まれ。ソウル芸術大学演劇科卒業。2001年ミュージカル「The Play」でデビュー。ミュージカル「サタデーナイトフィーバー」「ウェディングシンガー」「三銃士」「若きウェルテルの悩み」で、舞台上での魅力を発散。また、ドラマ「花咲く春には」や、映画「DMZ非武装地帯」「ダンサーの純情」などドラマ、映画などで活やくする一方、韓国のミュージシャンとグループを結成し、音楽活動も精力的に行うなど多方面で活躍している俳優。



リュ・ヒョンギョン

1983年生まれ。漢陽大学演劇映画学科卒業。96年にドラマ「コムタン」でデビュー。代表作は映画「夜を賭けて」などがある。最近では「シラノ・エージェンシー」「房子伝」「くだらないロマンス」に出演し、今人気急上昇中の女優。



田中要次 (たなか ようじ)

1963年8月8日、長野県木曽福島生まれ。1989年山川直人監督「SEEK AND FIND」でデビュー。その後、撮影スタッフとして、映像の世界に関わりながら、徐々に活躍の場を広げていく。2001年に放送されたドラマ「HERO」のパーテン役で人気を得る。映画、ドラマ、CMなど幅広く活躍中。代表作として「鮫肌男と桃尻女」「PARTY7」「キル・ビル」「銀色のシーズン」「桜田門外の変」など。



SSFF & ASIA 2010
旅ショート！プロジェクト 特別製作作品
『青春マンダラー！』

沖縄

監督：田嶋直子 主演：柏原収史、知念里奈
子供の頃にお世話になったおばあ、97歳の“マンダラー祝い”（竹富島特有の長寿祝いの祭）のために、竹富島に15年ぶりに戻ってくる聡（柏原）。そこで、幼馴染の美樹（知念）と再会。しかし、2人がおばあ宅に到着するやいなや、おばあが突然あの世行きになってしまったことを告げられる。マンダラー祝いのために戻ってきたのに、啞然とする2人。



SSFF & ASIA 2011
旅ショート！プロジェクト優秀賞
国土交通省大臣賞
『TOURISM HOKKAIDO「街」』

北海道

監督：山口洋介
ロケ地：北海道札幌市、北海道小樽市
札幌を離れることになった留学生詩雨は小樽に来たばかりの郭富に狸小路で出会い、札幌最後の自転車の旅に出る。



SSFF & ASIA 2010
旅ショート！プロジェクト優秀賞
国土交通省大臣賞
『瞬くほど曖昧な夕暮れに』

福岡

監督：近藤一彦
謎の老婆から届け物を託され戸惑うナオミ。母親から離れていく少女。少女を追うナオミに忘れていた記憶が蘇っていく。見覚えのある光景。経験したことのある出来事。時空を超えた景色の中でナオミが見たものは…。



SSFF & ASIA 2010
旅ショート！プロジェクト優秀賞
国土交通省大臣賞
『井の中の蛙』

北海道・滋賀県・沖縄県

監督：落合賢
引きこもりの青年文は、十年ぶりに東京を離れ日本縦断一人旅に出る。母の故郷である稚内、そして思い出の場所琵琶湖、母が一度は行ってみたかった沖縄の海を訪れる道中に出会う人、風土、文化を通して成年への成長を遂げていく。



SSFF & ASIA 2010
旅ショート！プロジェクト ノミネート
『やぎの散歩』

沖縄県

監督：仲村颯悟
昔ながらの沖縄の風景が広がる山原のとある集落。息子の結婚式のお祝いのために、オジギが大事に育てていたヤギが結婚式当日、オジギの目を盗んで逃げ出し、集落は大騒ぎに…。

著名人コラム「あの人の思い出の景色」

著名な方々が「旅」と映画を語る「旅ショート！プロジェクト」ならではのコラムを掲載中。



セイン・カミュ タレント・俳優

1970年ニューヨーク州生まれ、フランス系アメリカ人。両親の仕事関係で、幼少期から日本をはじめとした世界各国で暮らした経験を持つ。ニューヨークの大学で演劇と芸術論を学んだのち、日本に帰国、タレント・俳優活動を開始。以後テレビ、雑誌、CMなどで活躍。09年より『現代狂言』（座長・南原清隆）に挑戦。また、2男1女の父親でもある自身のイクメン修行を綴った著書『ザ・イクメン』を三省堂出版より発売。大叔父に「異邦人」でノーベル文学賞受賞作家アルベールカミュを持つ。



LiLiCo 映画コメンテーター

1970年、スウェーデン・ストックホルム生まれ。18歳の時、来日。「王様のブランチ」（TBS系）に映画コメンテーターとしてレギュラー出演のほか、声優、ラジオパーソナリティとして活躍。声優として、「サウスポーク」（カートマン役）、「レイトン教授と永遠の歌姫」（アニー役）を務める。スウェーデン絵本原作のDVD「おばけのラーバン」ではナレーションも務める。イベント・トークショーもこなし、ミスユニバースファイナルMCや昨年は「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」のオープニングイベントの司会も担当。J-WAVE「GROOVE LINE」、T-FM「よんぱち」などラジオ出演のほかスクリーン、ar、メンズクラブ、CLASSY.、「t」など執筆多数。著書に「LiLiCoの映画的生活」、「I LOVE SWEDEN」（共にゴマブックス）発売中。

第3回 旅ショート！プロジェクト 作品募集中

「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア(SSFF & ASIA)」、2012年の映画祭に向けて、観光庁との連携プロジェクトである「旅ショート！プロジェクト」について、8月1日(日)より作品募集をしております。

第二回を迎えた2011年は、全国から86作品もの応募があり、その中から厳選された入選7作品を、SSFF & ASIA 2011(6/16- 6/26)」で上映しました。審査員による厳正な審査の結果、「TOURISM HOKKAIDO「街」」(山口洋介監督)が優秀賞(国土交通大臣賞)に選ばれました。

観光庁と映画祭は、引き続き「旅」をテーマとしたショートフィルムを通じて、日本の魅力、旅の素晴らしさを伝えていきます。見たら絶対旅に行きたくなる、そんな作品をお待ちしております。また、東日本大震災により、日本国内の各地域が影響を受ける中、今年は、「日本を元気に、旅で笑顔に。」というキーワードで旅や地域の魅力を描いた作品もお待ちしております。



SSFF & ASIA 2011 旅ショート！プロジェクト 審査員
映画監督 中島信也(左) 女優 菊川怜(中央)
タレント/俳優 セイン カミュ(右)



SSFF & ASIA 2011
旅ショート！プロジェクト優秀賞受賞
(国土交通大臣賞)
監督山口洋介(中央)
観光庁審議官 山田尚義(中央左)

ショートショート フィルムフェスティバル & アジアとは

ショートショート フィルムフェスティバル(SSFF) は、1999年にアメリカハリウッドに集まったショートフィルムを紹介する映画祭としてスタートし、名監督の初期短編映画や、若手映像作家が産み出した作品などを紹介してきました。

2004年には、米国アカデミー賞公認映画祭としての名誉を受け、当映画祭のグランプリ作品が、次年度の米国アカデミー賞短編部門へのノミネート選考対象になるなど、アジア最大級のショートフィルムの祭典に成長しています。同じく、2004年には石原慎太郎東京都知事の発案により、アジア発の新しい映像文化の発信、新進若手映像作家の育成目的からショートショート フィルムフェスティバルアジア(SSFF ASIA) が立ち上がりました。現在は、この2つの映画祭を「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア(SSFF & ASIA)」として毎年6月に原宿・表参道で開催しています。

また、開催初年度から毎年ジョージ・ルーカス監督に応援いただくなど、世界中の映画人から愛される映画祭として成長を遂げ、2011年度は世界104ヶ国から4200本以上にも及ぶ作品がよせられたほか、これまでにのべ約25万人を動員するイベントへと成長しました。また、ロサンゼルス、シンガポール、ミャンマー、メキシコ、マレーシアと海外に展開も重ねています。

本映画祭では、2007年に『MEI 美』がノミネートとなり、『台北の朝、僕は恋をする』で長編デビューをしたアーヴィン・チェン監督、『881 歌え！ パパイヤ』がシンガポールで大ヒットとなったロイストン・タン監督、2010年に米国アカデミー賞にノミネートされた『マイレージ・マイライフ』のジェイソン・ライトマン監督など、本映画祭を経てチャンスを掴み、長編監督として成長していった例も少なくありません。今や第一線で活躍するこれらの監督のように、世界に羽ばたく若きクリエイターを本映画祭はこれからも応援していきます。 <http://www.shortshorts.org/>



SSFF & ASIA 会場
ラフォーレミュージアム原宿



SSFF & ASIA 2010 旅ショート！プロジェクト 審査員
映画監督 行定勲(左)
放送プロデューサー デーブ・スペクター(中央)
女優 忽那汐里(右)



SSFF & ASIA 2011
Wetaセミナー Supported by VATAN

< 本件に関するお問い合わせ先 >

ショートショート実行委員会

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-12-8 SSUビル4F

担当: 高橋、川村 TEL: 03-5474-8201 FAX: 03-5474-8202 e-mail: press@shortshorts.org